



平成22年度  
(2010年度)

# 事業報告書

学校法人  
聖母被昇天学院

## 1. 法人の概要

### 1) 建学の精神 — 聖母被昇天学院の基本的考え方

「学校法人聖母被昇天学院」は、1839年、聖マリ・ウージェニーによって創立され、フランスのパリに本部を持ち、国際的に活動しているカトリック聖母被昇天修道会を母胎に、1954年、大阪箕面の地に「学校法人被昇天学園」として創立された。

(1987年「学校法人被昇天学園」から「学校法人聖母被昇天学院」に名称変更)

聖母被昇天修道会の創立者 聖マリ・ウージェニーは、キリストの真理こそが、この地上に真の正義と平和をもたらし、社会を変革することができるかと信じていた。聖マリ・ウージェニーは、社会を変革する力がキリストの教えにあると信じていたので、キリストの教えに基づいて若い人たちを教育することが大きな課題であると考えていた。そして女性にこの変革に貢献する能力がある、という確信を抱いていた。

聖母被昇天学院の教育の目的、それは社会にあっても、家庭であっても、どこであってもキリストの考え方や感じ方を持ち続け、それらに従って自らの行動を選択していける人間へと成長するよう助けることである。

創立者 聖マリ・ウージェニーは、現代社会で課題となっている「多様性—Diversity」の社会、互いの存在を尊重し、人間と人間を隔てる壁を打ち壊す、真の意味でグローバルな社会をすでに171年前に描いていた。

また、環境問題についても敏感で繊細な心を持っていた。自然の恵み、自然への畏敬の念から目に見えない創造主の存在を感じ取る心を持つことを教えることは、幼い日々のかげがえのない賜物になると考えていた。

人間はただ単にこの世界に置かれているのではなく、ダイナミックで積極的な絆でむすびつけられている。人間は日々の存在に不可欠な大気、光、水といった環境と相互依存の中で生きる。私たち人間は環境に気を配る責任を持っている。私たちに任された地球の調和と進歩を促進するのは私たちだからである。

自然と同様に、私たちの世界のいのちあるすべてのものは、創造主という同じ起源を共有している。そのことを理解しながら、自分と同じように、尊いいのちを持った友達、隣人への理解と共感、人間として互いに愛情と信頼を生み出すものとなると考えていた。

そして広い視野に立って自分の生きる時代の現実を理解し、受け止め、変革のために働き、さらに国際社会へと世界に目を向けることのできる「自立した女性」を育てていくことが創立者の願う私たちの学院の使命である。

このような強い思いをもって創立者 聖マリ・ウージェニーは世界各国に教育理念の具現化のために、教育機関として聖母被昇天学院を創立した。全世界4大陸、30ヶ国以上、58の学校で約5万人の学生、生徒、児童たちに創立者の教育理念に基づいた教育を行っている。

この国際的な連携の中で、日本では1952年フィリピンとヨーロッパから5名のシスターたちが来日して、修道院を創るとともに、教育機関の開設準備をした。

1954年に学校法人として認可され、以来今日まで57年間、創立者 聖マリ・ウージェニーの教育理念を「誠実・隣人愛・喜び」というモットーに掲げて日々の教育活動を展開してきている。

私たちは一人ひとりの中に神さまから頂いた無限の可能性を与えられていることを信じているので、私たちに託された子どもたちにその無限の可能性に気づかせ、引き出し、発揮させることを心がけている。一人ひとりをおこの世で貴重でかけがえのない、いのちある人間として大事にする教育を推進している。

創立者 聖マリ・ウージェニーの抱いていた教育理念と世界観は、171年を経た現代もなお、21世紀のこの社会に警鐘を鳴らしつつも、私たちに大きな希望と励ましを与えるものである。そう考えると、聖母被昇天学院が現代の日本社会にあって果たすべき役割は大きいものである。

私たちは、小さくともきらりと光る、社会的に存在価値のある学院として、持続的に発展し続けることができるよう、心をひとつにして、創立者 聖マリ・ウージェニーの教育に対する強く熱い思いを受けついで、日々力を尽くし続けている。

## 2) 学校法人の沿革

### ①法人設立認可年月日

1954年	2月	6日	学校法人被昇天学園 設立認可
1987年	4月	1日	学校法人被昇天学園から学校法人聖母被昇天学院に 名称変更

### ②学校園設置認可年月日

1954年	2月	9日	幼稚園設置認可
1954年	2月	9日	小学校設置認可
1959年	11月	6日	中学校設置認可
1962年	9月	29日	高等学校設置認可
1967年	1月	23日	短期大学設置認可
2005年	7月	29日	短期大学閉学認可

③設置する学校園

幼稚園 1953年 4月 1日 開園

小学校 1954年 4月 1日 開校

中学校 1960年 4月 1日 開校

高等学校 1963年 4月 1日 開校(全日制)

④学校園の学生数の状況

(2010年5月1日現在) (単位:人)

	入学定員数	収容定員数	現員数
幼稚園	100	310	307
小学校	60	360	302
中学校	80	240	197
高等学校	80	240	176
合計	320	1150	982

⑤役員の概要

理事

(2011年3月31日現在) (定員7名)

区分	氏名	常勤・非常勤	摘要
1号 校長より選任	中戸 満	常勤	中学校高等学校校長
1号 校長より選任	坂本 清美	常勤	小学校校長
2号 評議員より選任	西尾 千鶴代	常勤	幼稚園長
2号 評議員より選任	森田 和一	常勤	理事長
3号 修道会より選任	中山 カナ子	常勤	学院長
4号 学識経験者	橋本 昭一	非常勤	
4号 学識経験者	ミカエル・カルマノ	非常勤	

監事

(2011年3月31日現在) (定員2名)

区分	氏名	常勤・非常勤	摘要
	小川 信	非常勤	
	森川 マリ子	非常勤	

⑥評議員の概要

評議員

(2011年3月31日) (定員15名)

氏名	主な現職等
中戸満	中学校高等学校校長 2008年就任
坂本清美	小学校校長 2008年就任
西尾千鶴代	幼稚園園長 2004年就任
河野育郎	法人事務局次長 2009年就任
三宅理磨	中学校高等学校教頭 2008年就任
三木史子	小学校教頭 2008年就任
中村祐子	幼稚園教頭 2009年就任
稲田礼子	卒業生 2008年就任
赤堀三千子	卒業生 2004年就任
橋本みちよ	卒業生 2004年就任
橋本昭一	関西大学教授 1995年就任
ミカエル・カルマノ	南山大学学長 2002年就任
本井文夫	顧問弁護士 2005年就任
森田和一	理事長 2010年就任
中山カナ子	学院長 1995年就任

⑦教職員の概要

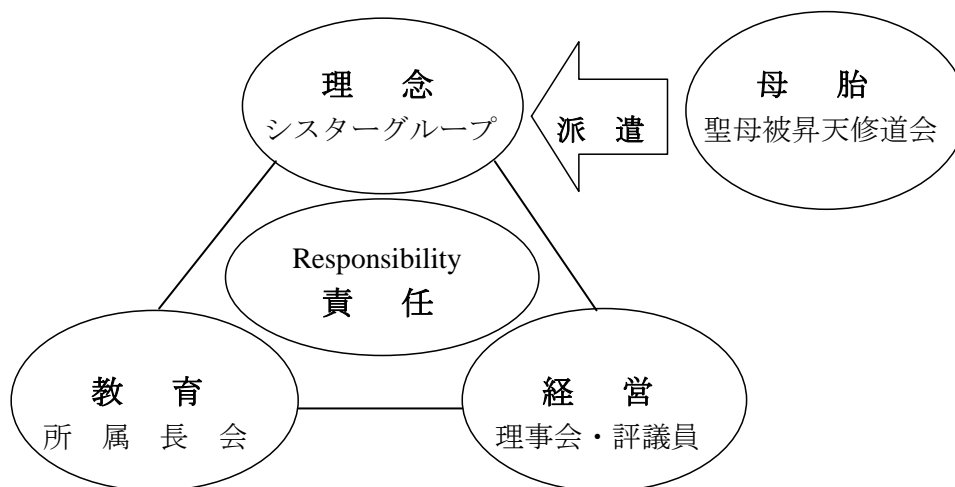
(2010年5月1日現在) (単位:人)

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	法人	合計
教員	本務	15	23	16	15	69
	兼務	8	8	7	11	34
職員	本務	1	2	1	3	18
	兼務	4	3	2	2	11

## 2. 2010年度（平成22年度）重点施策に対する活動報告

- 1) 3年目を迎えた三位一体の組織運営の総括
- 2) 学院全体（幼・小・中・高）の入試広報活動をダイナミックに展開して在籍定員の充足を図る
- 3) 一貫教育の推進を図る
- 4) 学校評価システムの展開推進
- 5) 教育力の充実強化
- 6) 国際交流の推進
- 7) 教育設備の整備
- 8) 財政健全化のための経営改革4年目の目標達成に取り組む
- 9) 高校授業料無償化

### 1) 3年目を迎えた三位一体の組織運営の総括



教育理念の継承伝播、各校園の教育現場の充実強化、理事会による果敢な経営推進の三位が一体となって機能を発揮して、学院の持続的な発展を図って行くとして改革した組織運営が3年目を迎え浸透してきたので、これの継続・発展を図る。

学院の経営は理事会、評議員会によって推進されている。理事会、評議員会のメンバーには母胎修道会のシスター、各校園の所属長等も入っており経営に参画している。理念、教育、経営が一体となって学院の持続的な発展を推進して行く。

2) 学院全体（幼・小・中・高）の入試広報活動をダイナミックに展開して在籍定員の充足を図る

(単位:名)	定員	2010.4.1		2011.4.1		2011.4.1 実績	目標 達成	前年 比	
		実績	目標	実績	目標				
幼稚園	満3歳児	—			—	—			
	3歳児	100	105	105	100	81	×	×	
	4歳児	105	93	93	105	113	○	○	
	5歳児	105	109	109	105	92	×	×	
	計	310	307	307	310	286	×	×	
小学校	1年生	60	内部	19	30	内部	16	×	×
			外部	24	30	外部	30	○	○
	2年生	60	52	52	60	44	×	×	
	3年生	60	46	46	60	51	×	○	
	4年生	60	48	48	60	44	×	×	
	5年生	60	54	54	52	46	×	×	
	6年生	60	59	59	56	54	×	×	
計	360	302	302	348	285	×	×		
中学校	1年生	80	内部	28	40	内部	47	○	○
			外部	23	40	外部	24	×	○
	2年生	80	66	66	80	51	×	×	
	3年生	80	80	80	80	62	×	×	
計	240	197	197	240	184	×	×		
高等学校	1年生	80	内部	50	60	内部	64	○	○
			外部	14	20	外部	10	×	×
	2年生	80	63	63	75	63	×	○	
	3年生	80	49	49	70	62	×	○	
計	240	176	176	225	199	×	○		
総合計	1150	982	982	1123	954	×	×		

※目標値 = 経営改革策定時の数値

2010年度の入試広報活動の成果は2011年4月1日の入学者在籍者の数値に表れて来る、2011年4月1日現在では前年に比べて28名の大幅な減となり、目標値に対して169名未達成となっている。

小学校1年生は46名で前年に比べ3名の増、目標に対して14名の減となっている。

中学校1年生は71名で前年に比べ20名の増、目標に対して9名の減となっている。

小学校から中学校への内部進学については課題を残している。小学校から外部流出数が2009年3月で16名、2010年3月で18名、2011年3月で12名と高い水準で推移している。

今後とも、小学校の教育力アップときめ細かい進路指導、小中高を通じた一貫教育の充

実・推進に取り組むことが肝要である。

### 3) 一貫教育の推進

2009年2月に答申された「小・中高の教育の充実を図るための方策」の課題検討結果に基づき、以下の内容について取り組みを行った。

#### ①小中高合同研修会の開催

小・中高の教員全員が参加し、各校の情報交換を行った。

#### ②宗教教育教員研修会の開催関係

小・中高の教員が全員参加し、学院のモットー「誠実・隣人愛・喜び」について、シスター方を講師に迎え、分かち合った。

#### ③小中高交流行事・保護者公開の実施

小中高交流行事・保護者公開の予定表を作成、配付し、「体育競技会」「合同クラブ」「合唱コンクール」「スピーチコンテスト」などで実施した。

#### ④トピック的授業の実施

中高の先生が、アフタースクールで、小学生を対象に魅力ある授業を行った。(社会・理科・国語・数学・英語を実施)

#### ⑤アサンプションファミリーセミナーの実施

小学校の保護者を対象に、中高の教員がテーマを決めて講話を行った。

#### ⑥入試広報での連携

小学校の児童と保護者対象の入試広報関係の行事を持った。オープンスクールは聖母被昇天小学校以外の児童・生徒・保護者も対象とした。

#### ⑦登校指導(朝の挨拶)

生徒指導のひとつとして、朝の挨拶運動を実施した。小中高の先生がローテーションで立ち、指導した。

#### ⑧教科の相互担当

英語、音楽、宗教、美術、体育の教科で、小学校と中高の授業を相互に担当した。

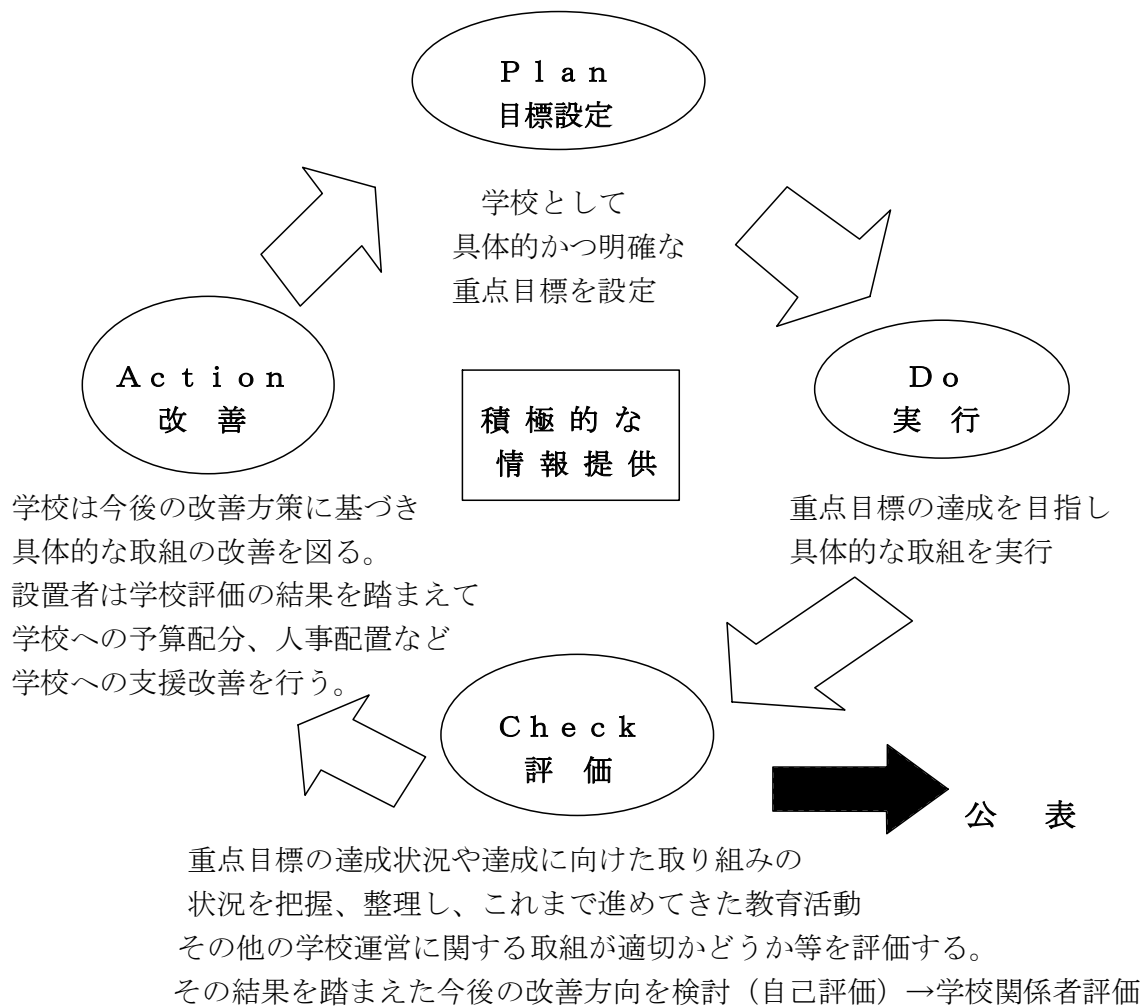
### 4) 学校評価システムの展開推進

2008年1月に改定された「学校評価ガイドライン」に基づき、本学院でも2008年度から「学校評価委員会」を発足させ、各校園の学校評価を全教職員に実施した。さらに、学校関係者評価(保護者)を実施するとともに、その結果を2009年度実施分から学院ホームページで公表している。

2010年度についても、教職員及び関係者評価を実施し、結果の分析を行っている。

教職員や保護者が共通理解を持ち、以下の改善サイクルを活用して学院の重点改善目標を見出し、常に向上心をもって取り組んでいくことが重要である。





## 5) 教育力の充実強化

本学院は一人ひとりの中に神さまから無限の可能性を与えられている児童、生徒に、その無限の可能性に気づかせ、引き出し、発揮させることを教育の原点にしている。教育力の充実強化を立証するために学力テスト等を定期的の実施し偏差値の向上を図り、社会的に存在価値のある学校を目指している。

進路指導においては、一人ひとりに与えられている無限の可能性を発揮できるように夢の実現に向けて、きめ細かい指導をしている。

### ①中高

#### <教科活動>

- ・水曜日に学習優先日を設け、図書室全開や学年会を中心とした補修の実施
- ・定期試験に思考力をつける問題を入れるため、時間を45分から50分に変更
- ・実力テスト・定期テストにおける学力推移を分析し、教員に情報提供
- ・新教務システムの導入による成績処理、通知表の出力方法・活用方法の検討

#### <進路指導>

- ・進学説明会・学部ガイダンス・出張授業・ホスピタリティ講座の校内実施
- ・受験科目講習を継続実施
- ・指定校推薦校との連携系強化のため、重点大学の訪問を強化

②小学校

＜授業力の向上強化＞

- ・IT教育機器の活用により、こどもの興味をひきつける授業を各教科で実施
- ・教員の授業力向上を目指し、学力向上のための公開授業、研究授業の推進
- ・外部講師による公開授業と講演による教員研修の実施

＜学力の向上＞

- ・低学年での繰り返し学習の徹底、家庭学習の定着化
- ・高学年の復習教材の難度を上げ、塾に行かなくても学習について安心できる環境作り

＜英語教育＞

- ・低学年からのリーディング教材導入で、読む力・書く力を強化
- ・授業や放課後英語クラスの指導で、英語検定試験で好成績を修めた（6年生の約半数が4級以上を取得）
- ・小中高12年間の一貫編成を完了し、小中高教諭の相互担当により中学校へ繋続

6) 国際交流の推進

2010年4月にフィリピンのアンティポロ校から5名の女子生徒、サンロレンゾ校から5名の女子生徒がそれぞれ来日し、本学院で同じ創立者聖マリ・ウージェニーの教育理念に基づいて教育されている生徒達が交流を深めた。本校からは、4月24日から5月8日まで中高生10名がフランス、ボルドーのアサンプション校を訪問するとともに、7月25日から8月7日まで中高生10名がフィリピン、マニラのアサンプション校を訪問した。世界につながっているということを実感する機会となっている。

7) 教育設備の整備

2010年度は、第2体育館のリニューアル工事、南門から幼稚園までの階段補修工事を実施し、学院主要な施設の改修工事を終了した。

8) 財政健全化のための経営改革計画4年目の目標達成に取り組む

各年 4月1日現在

(単位：千円)		生徒数	収 入	人 件 費	人件費率
2007年度	目標	929名	726,684	697,254	96.0%
	実績	932名	790,843	702,788	88.9%
2008年度	目標	955名	788,680	662,358	84.0%
	実績	946名	777,968	690,068	88.7%
2009年度	目標	1020名	842,610	643,352	76.4%
	実績	976名	826,683	681,369	82.4%
2010年度	目標	1108名	906,310	628,204	69.3%
	実績	982名	812,715	720,282	88.6%

※収入 = 学生生徒等納付金収入+手数料収入+寄付金収入+補助金収入  
但し、寄付金収入のうち奨学金基金寄付金は除く

(単位：千円)

	2008 年度実績	2009 年度実績	2010 年度予算		2010 年度実績		経営改革目標 2010年度
収入 (生徒数)	777,968 (945名)	826,683 (976名)	810,683 (982名)	⇔	812,715 (982名)	⇔	906,310 (1108名)
人件費 (人件費率)	690,068 (88.7%)	681,369 (82.3%)	731,753 (90.3%)	⇔	720,282 (88.6%)	⇔	628,204 (69.3%)

※2010年度予算は当初予算

※収入 = 学生生徒等納付金収入 + 手数料収入 + 寄付金収入 + 補助金収入  
但し、寄付金収入のうち奨学金基金寄付金は除く

2010年度の人件費は、昇給を実施し、期末手当は4.0ヶ月支給した。

2010年度収入内訳は、次の通りとなっている。

(単位：千円)

	当初予算	実績	差額
学生生徒等納付金	517,712	496,432	△21,280
手数料	2,871	1,852	△1,019
寄付金 (奨学寄付金を除く)	12,080	13,147	1,067
補助金	278,020	301,284	23,264
計	810,683	812,715	2,032

## 9) 高校授業料無償化

2010年度より大阪府の「私立高校生就学支援推進校」の指定を受け、国の就学支援金及び府の補助金により、年収350万円未満の保護者負担は無償となった。

国及び大阪府からの交付金を上回る授業料等(18名分468千円)については、学院において負担した。

2010年度の大阪府における制度の概要は、次のとおりである。

## 授業料支援制度 (2010年度) 大阪府

保護者の年収	年間授業料等	国の支援金	府の補助金	保護者負担
250万円未満	576,000円	237,600円	312,400円	0円
250万円以上 350万円未満		178,200円	371,800円	(学校負担 26,000円)
350万円以上 430万円未満			275,200円	182,000円
430万円以上 500万円未満		118,800円	175,200円	282,000円
500万円以上				0円

10) 2010年度の高等学校卒業生進路 (卒業生49名、過年度生2名)

〈国公立大学〉

神戸大学 1名

〈私立大学・共学校〉

上智大学 1名 関西学院大学 6名

関西大学 4名 立命館大学 2名

立命館アジア太平洋大学 1名 甲南大学 1名

京都外国語大学 2名 大阪産業大学 1名

神戸芸術工科大学 1名 京都造形芸術大学 1名

大手前大学 2名 流通経済大学 1名

〈私立大学・女子校〉

聖心女子大学 1名 神戸女学院大学 3名

大阪女学院大学 1名 神戸女子大学 1名

京都ノートルダム女子大学 3名 神戸海星女子学院大学 1名

京都光華女子大学 1名 梅花女子大学 3名

〈短期大学〉

大阪信愛女学院短期大学 1名 関西外国語短期大学 1名

大阪音楽大学短期大学部 1名 大阪成蹊短期大学 2名

大阪青山短期大学 1名

〈専門学校〉

グラムール美容専門学校 1名 ECCアーティスト学院 1名

関西ビューティプロ美容専門学校 1名

〈その他〉 3名